

平成 2 2 年 度 事 業 報 告 書

(平成 2 2 年 4 月 1 日 から平成 2 3 年 3 月 3 1 日 まで)

I 概 要

平成 2 2 年度は、美しくて清潔な自然環境のもとで快適な公園利用が促進されるよう、前年度に引続き本部及び支部において、次の各種事業を実施した。事業の区分については、一般法人への移行認可申請のため平成 2 0 年公益法人会計基準に則った区分としたが、実質的に従前の事業内容と変更となる点はない。

なお、平成 2 3 年 2 月に鹿児島・宮崎県境の新燃岳が噴火したことにより、以後高千穂河原支部は臨時閉鎖、えびの支部は実質休止状態に陥っている。

支部名	主な事業地	自然公園名	関係道県
知床支部	知床五湖	知床国立公園	北海道
川湯支部	摩周湖・硫黄山	阿寒国立公園	〃
阿寒湖支部	阿寒湖畔	〃	〃
支笏湖支部	支笏湖畔	支笏洞爺国立公園	〃
登別支部	地獄谷・大湯沼	〃	〃
昭和新山支部	昭和新山	〃	〃
大沼支部	大沼公園	大沼国定公園	〃
十和田支部	十和田湖畔	十和田八幡平国立公園	青森県
八幡平支部	八幡平・大沼	〃	岩手県・秋田県
浄土平支部	浄土平	磐梯朝日国立公園	福島県
日光支部	奥日光	日光国立公園	栃木県
草津支部	草津白根	上信越高原国立公園	群馬県
箱根支部	元箱根	富士箱根伊豆国立公園	神奈川県
上高地支部	上高地	中部山岳国立公園	長野県
鳥取支部	鳥取砂丘	山陰海岸国立公園	鳥取県
	大山寺	大山隠岐国立公園	〃
鳴門支部	鳴門公園	瀬戸内海国立公園	徳島県
雲仙支部	雲仙公園	雲仙天草国立公園	長崎県
阿蘇支部	草千里・山上	阿蘇くじゅう国立公園	熊本県
えびの支部	えびの高原	霧島屋久国立公園	宮崎県
高千穂河原支部	高千穂河原	〃	鹿児島県

II 実施事業等の部

1. 公園施設管理事業

(1) 公園施設管理事業の収入状況

公園施設管理事業は公園利用者のために、快適な公園環境を提供することを第一の目的とする事業であり、20支部において展開している。その財源の大部分は、駐車場事業収入であるが、この他にキャンプ場管理業務に伴って受け入れる「清掃協力費」(9支部)、公衆トイレにおける「チップ」収入(2支部)等があり、これらを含め収入金の総額は、79,760千円であった。

(2) 公園施設管理事業の運営に係る支出状況

この事業に要した経常経費は、総額228,221千円であった。(管理費を除く)
実施した内容は次のとおりである。

- ① 公衆トイレの清掃管理
- ② 園地、指導標及び案内板などの公園施設の補修や維持管理、簡易施設の設置
- ③ ビジターセンターの維持管理事業
- ④ 自然観察会、自然体験プログラム等の自然ふれあいの行事の実施
- ⑤ 自然情報及び利用案内等のニュース誌やリーフレットの作成
- ⑥ 自然探勝路におけるセルフガイドシステムの展開
- ⑦ キャンプ場及び上高地公園活動ステーション(研修施設)の管理
- ⑧ 駐車場やその周辺の除雪管理

(3) 被助成固定資産の取得

財団法人日本宝くじ協会から助成金47,250千円を受け、北海道斜里町(知床国立公園内)に知床五湖パークサービスセンターを整備した。

2. 美化清掃事業

(1) 美化清掃事業の収入状況

国立公園の美化清掃は、環境省、道・県、市町村、地元民間団体の4者が資金提供をして実施しており、当財団はこの4者に資金を上乗せして、美しい自然環境の保全に貢献している。

事業実施の方法は、当財団支部が4者から資金提供を受け自ら実施する方式と、既存の地元清掃団体が資金を受け入れて実施する方式がある。

当財団が自ら実施する場合、環境省からの請負金、地方公共団体等からの清掃活動費補助金や負担金を受けて美化清掃事業を実施しており、その総額は27,804千円であった。

(2) 美化清掃事業の運営に係る支出状況

美化清掃事業は、広大な清掃区域を自動車で巡回したり、園地や遊歩道を徒歩でパトロールすることにより、「散在ゴミ」を回収し、処分する仕事であることから、その経費の大部分は賃金(清掃)となっている。

この事業の財源としては、上記の美化清掃事業収入の他に駐車場事業収入を上乗せしており、その経常事業費の総額は、114,120千円(管理費を除く)であった。

- ① 環境省との「請負契約」と地元道県・市町村の「清掃活動補助金」制度に基づき、当財団が事業を実施している次の13事業地においては、請負・補助金等の収入27,425千円に駐車場事業収入35,754千円その他を加え、合計91,948千円で実施した。

知床支部、川湯支部、阿寒湖支部、支笏湖支部、登別支部、昭和新山支部、大沼支部
鳥取支部（2事業地）、鳴門支部、雲仙支部、えびの支部、高千穂河原支部

- ② 地元清掃団体が事業を実施している次の8事業地においては、財団として22,172千円を負担した。

十和田支部、八幡平支部、浄土平支部、日光支部、草津支部、箱根支部、上高地支部、
阿蘇支部

3. 助成事業

自然公園内におけるボランティア活動に対して、公益信託自然保護ボランティアファンドの助成金により支援する事業と、主に岡山県、香川県の本四地域において、環境保全、美化清掃、思想普及事業を実施している活動団体に対して財団独自の資金により支援する2つの事業を実施した。

(1) ボランティアファンドによる助成事業

公益信託自然保護ボランティアファンドから助成金6,000千円を受けて、各地の国立公園・国定公園の保護や利用指導に活躍する自然保護ボランティア25団体に活動費を助成し、その活動を支援した。

これらの団体には、国立公園・国定公園の思想普及活動を行うものの他、海岸の漂着ゴミの回収、シカによる高山植物食害対策、特定外来生物「ウチダザリガニ」の駆除、荒廃裸地の植生復元を行う団体などが含まれている。

(2) 本四地域等における助成事業

岡山県及び香川県地域（本四地域）の他支部事業地において行われる環境保全、美化清掃、思想普及事業の活動をしている団体に対して、7,896千円の助成を行った。

4. 広報活動事業

広報活動事業は全国的な視野に立つての事業であり、以下を実施した。この財源は主に基本財産の果実、情報誌販売収入及び駐車場事業収入等である。

① 財団ホームページの刷新と運用	2,432,849 円
② 情報誌「パークガイド」の作成	19,703,133 円
③ 野生動物写真コンテストの実施	2,268,542 円
④ 「COP10」への参加	1,983,450 円
⑤ マンガ「アンチエイジングの旅」の作成	1,071,783 円
⑥ 新宿御苑「国立公園フェア」への参加等	436,697 円
⑦ その他	218,647 円
総 額	28,115,101 円

Ⅲ その他事業の部

1. 特定業務受託事業

(1) 特定業務受託事業の収入状況

本部及び20支部において、環境省・地方公共団体等からの特定公園施設の維持管理業務及び財団の公園管理技術に基づく調査業務等の受託事業を行った。この事業の収入額は253,400千円であったが、緊急雇用対策事業の受託により、前年度比54,449千円の大幅増加となった。

(2) 特定業務受託事業の実施状況

受託業務の実施内容は次のとおりである。

- ① ビジターセンター等の維持管理、自然ふれあい行事等の実施 ----- (14支部・24件)
知床・川湯・阿寒湖・支笏湖・十和田・八幡平・浄土平・日光・箱根・上高地
鳥取(砂丘、大山)・雲仙・えびの・高千穂河原
- ② 公衆トイレの清掃・維持管理 ----- (10支部・16件)
川湯・支笏湖・十和田・八幡平・日光・上高地・鳥取(砂丘)・鳴門・雲仙
高千穂河原
- ③ 園地、歩道等の維持管理、園路や公共施設の除雪・排雪 ----- (18支部・35件)
知床・川湯・阿寒湖・支笏湖・登別・昭和新山・大沼・十和田・八幡平・浄土平
日光・草津・鳥取(砂丘、大山)・鳴門・雲仙・阿蘇・えびの・高千穂河原
- ④ 財団職員の清掃団体等への出向、交通整理要員の配置 ----- (5支部・8件)
浄土平・上高地・鳴門・雲仙・阿蘇
- ⑤ グリーンワーカー事業等 ----- (10支部・29件)
川湯・支笏湖・十和田・八幡平・日光・上高地・鳥取(砂丘、大山)・雲仙・えびの
高千穂河原
- ⑥ 国立公園内における調査業務等 ----- (本部及び4支部7件)
本部・川湯・支笏湖・昭和新山・箱根
- * 緊急雇用対策事業として実施した支部 ----- (8支部)
支笏湖・昭和新山・浄土平・草津・鳥取(砂丘)・雲仙・えびの・高千穂河原

2. 駐車場事業

(1) 駐車場事業の収入状況

駐車場事業は、環境省及び地方公共団体が設置した駐車場の使用許可を得て公共駐車場等の管理を実施することにより、公園利用者から「施設利用・環境整備協力費」を徴収し、公園の快適な利用の促進とリアルタイムの情報提供を行う事業である。この事業による20支部における徴収額は、総額758,025千円で、前年度に比べ、4.0%減少した。

なお、今年度当該駐車場を利用して「施設利用・環境整備協力費」を負担した自動車の台数は、約143万台であり、前年度に比べ5.9%の減少であった。その概算利用者数は、約815万人であった。

(2) 駐車場事業の運営にかかる支出状況

前記の事業を展開するために、料金徴収と利用案内を担当する駐車場班職員を配置している。この体制を整える経費には、公共駐車場用地等の使用料、事故対応の各種保険料、職員の被服、利用券印刷の費用などがあり、その総額は、378,995千円（管理費を除く）であった。

3. 販売事業

本部及び20支部においては、ビジターセンターや財団支部事務所等の窓口で、自然に親しむための参考図書や、利用者の便に供するためのネイチャーグッズ等の販売を行った。

これらの収入は91,826千円であり、その経常経費（管理費を除く）は114,416千円であった。

4. 法人会計（管理費の部）

管理費(間接事務費)は、285,374千円であった。